

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2024年9月20-21日
学会名	The 10th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics
演題名	Optical path simulation for in-air readout optical computed tomography
発表者	○Akito S Koganezawa, Takumi Akuto※ (小金澤研究室), Yuta Kurosaki※ (小金澤研究室), Yuto Negishi※ (小金澤研究室), Koichi Muro, Takuya Wada, Takeo Nakashima
内容	<p>小金澤研究室では色素ゲル線量計の読み出しに用いる in-air readout optical CT (IAR-OCT) の開発に取り組んでいる。IAR-OCT では光の屈折が断層写真の歪みに及ぼす影響を詳細に評価する必要がある。発表では光路シミュレーションに基づいて被写体の屈折率に応じてカメラ位置を最適化する方法について紹介し、臨床における品質管理を想定した今後の開発で使用可能性のある被写体サイズと屈折率を想定したカメラ位置を含む IAR-OCT の設計について述べた。</p>
関連画像	<p>カメラ位置の最適化</p>